

第44回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議

次 第

令和2年12月17日（木）18時15分から
都庁第一本庁舎 7階特別会議室（庁議室）

- 1 開会
- 2 状況報告・各局発言
- 3 本部長発言・指示
- 4 閉会

新型コロナウイルス感染症に関する対応

1. 現在の状況

○ 主な国・地域ごとの発生状況(厚生労働省発表 12月16日15時時点)

国・地域	感染者数	死亡者数
米 国	16,716,777	303,773
イ ン ド	9,932,547	144,096
ブ ラ ジ ル	6,970,034	182,799
ロ シ ア	2,682,866	47,410
フ ラ ン ス	2,447,406	59,182
ト ル コ	1,898,447	16,881
英 国	1,893,436	65,006
イ タ リ ア	1,870,576	65,857
ス ペ イ ン	1,762,212	48,401
ア ルゼンチン	1,510,203	41,204
そ の 他	25,790,767	660,925
合 計	73,475,271	1,635,534

※191の国・地域で確認されている。

○国内の発生状況(厚生労働省発表12月15日24時時点)

都 道 府 県	感染者数	死亡者数
東 京	47,990	547
大 阪	25,420	431
神 奈 川	15,397	226
愛 知	12,820	145
北 海 道	11,564	341
埼 玉	10,715	173
千 葉	8,388	101
兵 庫	7,403	112
福 岡	6,749	111
沖 縄	4,824	77
そ の 他	31,056	423
合 計	182,326	2,687

※チャーター便帰国者15名、空港検疫1,701名、クルーズ船乗員・乗客712名を除く。

○都の発生状況(12月16日20時00分時点)新型コロナウイルス感染症対策サイト

検査陽性者の状況

陽性者数(累計)	48,668人
入院	1,960人
軽症・中等症	1,891人
重症	69人
宿泊療養	938人
自宅療養	1,255人
入院・療養等調整中	917人
死亡	557人
退院等(療養期間経過を含む)	43,041人

陽性者数の内訳

- ・海外からの旅行者 3名(中国在住)
- ・都内在住者等 48,665名

(注)

- ・チャーター機帰国者、クルーズ船乗客等は含まれていない
- ・「重症」は、人工呼吸器管理(ECMOを含む)が必要な患者数を計上
- ・退院者数の把握には一定の期間を要しており、確認次第数値を更新している

○ 直近の国の動き

- 10月15日 第11回新型コロナウイルス感染症対策分科会
- 10月23日 第12回新型コロナウイルス感染症対策分科会
- 10月29日 第13回新型コロナウイルス感染症対策分科会
- 10月30日 第44回新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 11月 9日 第14回新型コロナウイルス感染症対策分科会
- 11月10日 第45回新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 11月12日 第15回新型コロナウイルス感染症対策分科会
- 11月16日 第46回新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 11月20日 第16回新型コロナウイルス感染症対策分科会
- 11月21日 第47回新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 11月25日 第17回新型コロナウイルス感染症対策分科会
- 11月27日 第48回新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 12月11日 第18回新型コロナウイルス感染症対策分科会
- 12月14日 第49回新型コロナウイルス感染症対策本部会議

○ 直近の都の動き

- 10月30日 第39回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 11月19日 第40回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 11月25日 第41回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 12月 2日 第42回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 12月14日 第43回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議

2 直近の都の対応

- ・東京iCDCの設置(10月1日から)
- ・都内23区及び多摩地域の各市町村内の酒類の提供を行う飲食店及びカラオケ店を対象に朝5時から夜10時までの営業時間短縮の要請(11月28日から12月17日まで)
- ・都内23区及び多摩地域の各市町村内の酒類の提供を行う飲食店及びカラオケ店を対象に朝5時から夜10時までの営業時間短縮の要請(12月18日から1月11日まで)

新型コロナウイルス感染症への各局の対応

○ 直近の各局の主な対応(10月～)

【政策企画局】

- ・ 1都3県知事による国への共同要請（10月16日）
- ・ 1都3県知事共同メッセージ発出（12月8日）

【総務局】

- ・ 「団体向け新型コロナウイルス感染防止対策自主点検等支援事業（総合支援事業）」の申請受付を開始（10月9日）
- ・ 経済的に困難な状況にある方を対象に緊急サポートスタッフを募集【全庁的取組】（12月11日）

【生活文化局】

- ・ 広報東京都10月号1面で、家庭内での感染予防について掲載
- ・ 広報東京都11月号1面・2面で、発熱時の受診フロー図などインフルエンザとの同時流行への備え、支援策について掲載
- ・ 東京都つながり創生財団と連携し、都内外国人向けに感染防止策に関するチラシを「やさしい日本語」、英語等で作成・配布
- ・ 広報東京都12月号5面・8面で、感染症対策条例の改正、年末年始の基本的な感染予防の徹底、STOP!コロナ差別について掲載
- ・ 東京都つながり創生財団と連携し、都内外国人向けに「感染対策 短期集中」のチラシを「やさしい日本語」で作成・配布

【福祉保健局】

- ・ 「東京都新型コロナウイルス感染症対策条例」を改正
- ・ 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行を見据えた取組をとりまとめ

○ 直近の各局の主な対応(10月～)

【産業労働局】

- ・ 「営業時間短縮に係る感染拡大防止協力金(9月実施分)」の申請受付を開始(10月1日)
- ・ 「新型コロナウイルス感染症緊急対策トライアル発注認定制度(第2回)」の申請受付を開始(10月1日)
- ・ 「オンライン東京ツアー」への参加申込の受付を開始(10月5日)
- ・ 「宿泊施設テレワーク利用促進事業」の申請受付開始(10月8日)
- ・ 「オンラインツアー造成支援事業」の募集を開始(10月8日)
- ・ 「早期再就職緊急支援事業」の実施について公表(10月8日)
- ・ 「都内観光促進事業(もっと楽しもう!TokyoTokyo)登録事業者の申請受付を開始(10月9日)
- ・ 「観光事業者の経営力強化に向けた専門家派遣」を実施(10月15日)
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の実施期間の延長について公表(10月28日)
- ・ 「新型コロナウイルスの影響による解雇・雇止め等に関する電話特別労働相談」を実施(10月29日・30日)
- ・ 「新しい日常」に対応した観光事業者等の取組を紹介するウェブサイトを開設(10月30日)
- ・ 「飲食事業者向けテラス営業支援」の追加募集を開始(11月17日)
- ・ 「営業時間短縮に係る感染拡大防止協力金(11/28～12/17実施分)」について公表(11月25日)
- ・ 「都内観光促進事業(もっと楽しもう!TokyoTokyo)の新規予約の一時停止について公表(11月25日)
- ・ 「新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン等に基づく対策実行支援」における内装・設備工事費の助成限度額の変更について公表(11月25日)
- ・ サイバーセキュリティ対策の支援対象企業の募集内容について公表(11月25日)
- ・ 「都内観光促進事業(もっと楽しもう!TokyoTokyo)の利用自粛について公表(12月3日)

【教育庁】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドラインの改訂及び周知
(区市町村には改訂版ガイドラインを参考に周知)
- ・ 「東京都発熱相談センター」の開設についてを通知(区市町村には同センターの開設について参考に周知)
- ・ 年末年始に向けた新型コロナウイルス感染症対策の徹底についてを通知
(区市町村には都の措置を参考に対策の徹底を再周知)
- ・ 年末年始における新型コロナウイルス感染症対策についてを通知
(区市町村には都の措置を参考に対策の徹底を再周知)

感染状況・医療提供体制の分析（12月16日時点）

【12月17日モニタリング会議】

区分	モニタリング項目 ※①～⑤は7日間移動平均で算出	前回の数値 (12月9日公表時点)	現在の数値 (12月16日公表時点)	前回との比較	(参考) これまでの最大値	項目ごとの分析※4	
感染状況	①新規陽性者数※5 (うち65歳以上)	424.6人 (67.1人)	513.1人 (73.0人)		451.9人 (2020/12/3)	総括コメント	感染が拡大していると思われる
	潜在・市中感染						
	②#7119（東京消防庁救急相談センター）※1における発熱等相談件数	56.9件	63.4件		117.1件 (2020/4/5)	65歳以上の新規陽性者数が増加しており、高齢者への感染の機会を、あらゆる場面で減らすことが必要である。日常生活のなかで感染するリスクが高まっており、医療提供体制の深刻な機能不全を避けるための最大限の感染拡大防止策が必要である。	
	③新規陽性者における接触歴等不明者※5	数	232.1人	293.1人			
増加比※2	93.1%	126.3%		281.7% (2020/4/9)			
医療提供体制	検査体制					総括コメント	体制が逼迫していると思われる
	④検査の陽性率（PCR・抗原）（検査人数）	6.1% (6,509.4人)	6.7% (7,049.3人)		31.7% (2020/4/11)	入院患者の引き続き増加傾向に伴い、新型コロナウイルス感染症患者のための医療と、通常医療との両立が困難な状況となった。新規陽性者数の増加を抑制するための対策を強化し、重症患者数の増加を防ぐことが最も重要である。	
	⑤救急医療の東京ルール※3の適用件数	43.0件	46.0件		100.0件 (2020/5/5)		
	⑥入院患者数（病床数）	1,820人 (3,000床)	1,960人 (3,000床)		1,856人 (2020/12/6)		
⑦重症患者数 人工呼吸器管理（ECMO含む）が必要な患者（病床数）	59人 (200床)	69人 (200床)		105人 (2020/4/28,29)			

※1 「#7119」…急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口

※2 新規陽性者における接触歴等不明者の増加比は、絶対値で評価

※3 「救急医療の東京ルール」…救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

※4 分析にあたっては、上記項目以外にも新規陽性者の年齢別発生状況などの患者動向や病床別入院患者数等も参照

※5 都外居住者が自己採取し郵送した検体による新規陽性者分を除く。

モニタリング分析の結果（12/16）

1 感染状況

<総括コメント（4段階）>



感染が拡大していると思われる



感染の再拡大に警戒が必要であると思われる / 感染が拡大しつつあると思われる



感染の再拡大に注意が必要であると思われる / 感染拡大の兆候があると思われる



感染者数の増加が一定程度にとどまっていると思われる

2 医療提供体制

<総括コメント（4段階）>



体制が逼迫していると思われる



体制強化が必要であると思われる



体制強化の状態を維持する必要があると思われる / 体制強化の準備が必要であると思われる



通常の体制で対応可能であると思われる

12月17日陽性者の状況（速報）

新規陽性者 822人

- 20代、30代が370人で45%
- 65歳以上の高齢者が112人で14%

[内訳]

性別	男性	467人	女性	355人
年代	10歳未満	23人	50代	113人
	10代	47人	60代	63人
	20代	201人	70代	43人
	30代	169人	80代	26人
	40代	123人	90代~	14人

医療・宿泊療養体制について

医療提供体制

- 4,000床（重症250床、中等症以下3,750床）の確保を都内医療機関に要請

宿泊療養体制

- 10施設、約4,000室を用意
- 70歳未満で基礎疾患のない方の宿泊施設での療養を検討

東京 i CDC からのメッセージ

いつもと違う年末・年始 5つの約束

1. いつも一緒にいる人と過ごす
2. 人の多いところに出かけない
3. 常にマスクを忘れない
4. 常に手洗いを忘れない
5. 常に換気に注意する

都民向け感染予防ハンドブック（概要）

- 都民のみなさまが感染症予防について正しく理解した上で安心して生活いただくために作成

主な内容

- 新型コロナウイルス(SARS-CoV2)とは？
- 新型コロナウイルス感染症にかかると、どのような症状が出ますか？
- どうやって感染するの？
- 気になる症状があるときに、気をつけることは？
- 感染伝播予防の徹底
 - 対策1. 常にマスクをつけます
 - 対策2. 手洗いをしましょう！
 - 対策3. 換気
 - 対策4. 環境消毒
 - 対策5. 3密の場면을避けましょう

本日よりWEBで公開（福祉保健局HP・Twitter、東京iCDCのnoteなど）

「第44回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議」

令和2年12月17日（木）18時15分
都庁第一本庁舎 7階特別会議室（庁議室）

【危機管理監】

それでは、第44回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開始いたします。

世界各国の感染の状況です。

感染者数につきましては、7,347万人の方、亡くなられた方については、163万人を超える方々が亡くなられています。

国内の発生状況になります。国内では合計で18万2,326名の方が感染、2,687名の方が亡くなられている状況です。

次、都内の発生状況になります。

12月16日20時の時点におきまして、陽性者の累計は4万8,668人、入院者数が1,960人、それぞれの療養につきましては、その下にある数字の通りです。

これまでに、退院等された方につきましては、4万3,041の方が退院等をされています。

次、直近の都の動きになります。

12月14日第43回対策本部会議の開催をしております。

直近の都の対応につきましては、都内23区及び多摩地域の各市町村の酒類の提供を行う飲食店及びカラオケ店を対象に営業時間の短縮を要請しているところです。期間は1月11日までとなります。

次、新型コロナウイルス感染症への各局の対応です。

直近の各局の対応といたしましては、政策企画局から1都3県知事共同メッセージを12月8日に発出いたしました。

教育庁におきましては、年末年始における新型コロナウイルス感染症対策についてという通知を発出しております。

それでは、初宿健康危機管理担当局長からモニタリング会議の内容等についてご報告をお願いいたします。

【健康危機管理担当局長】

まず、先ほどモニタリング会議で報告されました専門家の分析結果についてご報告いたします。

専門家の方々からは、65歳以上の新規陽性者数が増加しており、高齢者への感染の機会をあらゆる場面で減らすことが必要であること、日常生活の中で感染するリスクが高まっており、医療提供体制の深刻な機能不全を避けるための最大限の感染拡大防止策が必要で

あることなどから、感染状況については、4段階のうち最高レベルの「感染が拡大していると思われる」との総括コメントをいただいております。

続いて、医療提供体制についてですが、入院患者の引き続き増加傾向に伴い、新型コロナウイルス感染症患者のための医療と、通常医療との両立が困難な状況となったこと、新規陽性者数の増加を抑制するための対策を強化し、重症患者数の増加を防ぐことが最も重要であることなどから、医療提供体制についても、4段階のうち最高レベルとなる「体制が逼迫していると思われる」との総括コメントをいただきました。

次のページでございますが、本日の陽性者数の状況でございます。

本日の陽性者数は 822 人となり、過去最高であった昨日を大きく上回る人数となりました。

性別でみると、男性が 469 人、女性が 355 人となっております。

年代別では、20 代、30 代が 370 人で全体の 45% を占めております。また、65 歳以上の高齢者は 112 人、全体の 14% となっております。

次のページでございます。

医療・宿泊療養体制についてです。

現在、都は、入院患者を受入れるため 3,000 床を確保してございますが、感染が拡大していることを踏まえ、昨日、重症病床を、250 床、中等症以下の病床を 3,750 床、合計 4,000 床を確保するよう、都内の医療機関に要請をいたしました。

宿泊療養施設については、本日、新たに 1 施設を開設いたしまして、合計 10 施設、約 4,000 室を整備してございます。

また、現在は 65 歳以上の高齢者は一律に入院としておりますが、70 歳未満で基礎疾患のない方の宿泊施設での療養について検討して参ります。

次のページでございます。東京 i CDC からのメッセージでございます。

本日のモニタリング会議で、東京 i CDC の賀来先生から「いつもと違う年末・年始」の過ごし方について、初詣や帰省、会食での注意点を告示いただきました。

次のページ、都民向け感染予防ハンドブックの概要でございます。

東京 i CDC では、都民向けの感染予防ハンドブックを作成し、本日から都のホームページ等で発信をしてございます。

私からは以上でございます。

【危機管理監】

ありがとうございました。

ここで、各局からご発言等ある方いらっしゃいましたらお願いします。

ウェブで参加の皆様から何かご発言等ありますか。

それでは、本部長から指示をお願いしたいと思います。

【都知事】

第 44 回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議です。

本日のモニタリング会議での分析において、医療提供体制がオレンジ色から最高レベルの赤色となりまして、感染状況・医療提供体制ともに赤色となっております。

専門家の先生方からは、医療提供体制がひっ迫しているとのこと指摘をいただいております。

本日の重症者数は、昨日から 3 名減少いたしまして 66 人であり、一方、本日、新規陽性者が 822 人となり、過去最高でありました昨日の 678 人を大幅に上回る数となっております。これまで以上に危機感を持つ必要がございます。

モニタリング会議での分析結果を踏まえますと、現在の状況は、感染拡大について都民、そして事業者に強いメッセージを発し、より一層の注意喚起を行うべき状況にあると考えます。

各局においては、特別な危機感を持って、年末年始に向けた更なる対策について、スピード感を持って推進・検討をお願いします。

この後、臨時記者会見を開きますが、都民・事業者の皆様に対して、感染拡大防止のための呼びかけを行って参ります。

都といたしましては、常に申し上げている三本の柱「死亡者を出さない」「重症者を出さない」「医療提供体制の崩壊を防ぐ」を軸に、何よりも大切な、都民の命を守り抜いていく。それぞれが主体性を持って、そして当事者としてしっかりと対応してください。危機感を持って進めて参りましょう。よろしくお願いいたします。

【危機管理監】

ありがとうございました。

以上をもちまして、第 44 回東京都新型コロナウイルス感染症対策本部会議を終了いたします。